

授業科目

臨床的推論演習 ※臨床徒手理学療法コース

担当教員名 佐藤 成登志	対象学年	1	対象学科	保健学（理学療法学分野）
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	4	時間数	60

授業の概要

臨床推論の理念を理解し、ワークショップなどを通じてその実践方法を学びます。

授業の目的

徒手理学療法は臨床推論に基づき、機能障害の原因およびそのメカニズム、関連因子などを見極め、患者・対象者とともに治療方針などについて意思決定を行うことが重要とされています。各患者の問題を把握し、問題を定義した上で治療戦略を個別に作成し、治療介入によって患者それぞれが持つ問題の解決を図る必要があります。この授業では実習にて得た症例情報に基づき、臨床推論過程についてディスカッションを通して学習します。

学習目標

1. 仮説に基づいた系統的な問診を展開することができる。
2. 科学的根拠に基づいた推論において妥当な仮説を立てることができる。
3. 生物学的・心理・社会的な枠組みを考慮した推論において妥当な仮説を立てることができる。
4. 仮説を検証するための具体的検査項目を列挙し、その妥当性を説明できる。
5. 他者の意見を肯定的に捉えて検討し、自身の推論に対して常に省察しながら進めることができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題
1	オリエンテーション, 徒手理学療法における臨床推論 1 : 概論
2	徒手理学療法における臨床推論 2 : 問診からの推論
3	徒手理学療法における臨床推論 3 : 推論からの仮説設定
4	病理生物学的メカニズムと臨床推論
5	仮説検証
6	ワークショップ 1
7	ワークショップ 2
8	ワークショップ 3
9	ワークショップ 4
10	ワークショップ 5
11	ワークショップ 6
12	ワークショップ 7
13	ワークショップ 8
14	ワークショップ 9
15	ワークショップ 10

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	エビデンスに基づいた徒手療法 症状に焦点を絞った問題指向型のアプローチ	マイケル・A・セフェンジャー、総監修：高田治実、監修：佐藤成登志 他	ガイアブック	2012年	6,500円 + 税	
	神経筋骨格系の検査と評価	Petty NA、中山孝監訳 他	医歯薬出版	2010年	6,800円 + 税	
その他の資料	資料配布					

評価方法

授業への貢献度、レポート

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

研究室：E102、オフィスアワー：メールにてアポイントメントをとり、面談時間を確認。
メールアドレス：n-sato@nuhw.ac.jp